

夏期海外研修報告 ～カナダ、韓国研修～



目次：

夏期海外研修報告 P1
カナダ、韓国第11回聖学院大学
留学生日本語弁
論大会が開催され
る在日留学生音楽コ
ンクールでインプ
ット春期海外研修特集 P3
～オーストラリア
ディーキン大学春期海外研修特集 P3
～オーストラリア
第13回児童学海
外研修
フリンダース大学ヴェリタス祭でも P4
留学生が大活躍！留学生在籍状況 P4
お知らせカナダ/ビクトリア大学
イングリッシュ・ランゲージ・センター欧米文化学科4年(留学時3年)
尾形 実咲さん

今回の留学は私にとって挑戦でした。カナダ以外にアメリカも候補にありましたがカナダへ行ったことがなかったのと、寮生活であることからカナダ・ヴィクトリア研修に決めました。学校は月～金曜まで午前2コマありました。寮も食堂も学校と同じ敷地内にあります。食堂は4つほどありビュッフェ形式になっているので食事に困ることはありませんでした。午後にはBBQや海へ無料でいける自由参加型のアクティビティーが毎日用意されており私も何回も参加しました。授業は20人程度の少数クラスで



日本語と辞書は使用禁止とされていましたが、わからない点は先生が優しく教えてくれた

海辺でチーズ！

仲間たちと
のテニス

ので不安はありませんでした。街頭インタビューなどの課外授業もあったため、楽しく英語を学ぶことができました。空いている時間は学校から出ているバスに乗りダウンタウンへ行き食事や買い物をしました。色々なごはん屋さんがあるのでお勧めです。学校内にも体育館やプール、テニスコートなど、利用できる施設がありコミュニケーションを取るのに最適な場です。授業の最後にはまとめとしてspeaking testと自分のhome townについてのプレゼンを英語で行いました。ヴィクトリアは自然が多く、落ち着いた場所で治安もよかったです。友達が2人バスで携帯を落としましたが二回とも手元に帰ってきました。皆さんのなかで自分の気持ちさえあれば留学できる環境の人はこの機会にぜひ参加してみてください。異国でさまざまな刺激とともに吸収できることがきっとあるはずです。

啓明大学校 韓国語と文化コース

日本文化学科4年(留学時3年)

松田 朝子さん

私は韓国が大好きでこの研修に参加しました。場所はソウルから急行列車で2時間弱の大邱市にある啓明大学校です。研修の内容は、平日は朝9時～レベル別に分かれたクラスで韓国語の授業を受け、食堂で昼食を取った後は夕方



テコンドーを体験

まで文化体験をします。その後は自由で、友人と大学近くの繁華街に行き、買い



友人たちと松田さん（一番右）

物や夕食を楽しみます。休日は自由なのでソウルに出かけました。

日本語が堪能な韓国人のサポート学生が毎日、行動を共にしてくれました。夜には現地のおすすめの料理店に連れて行ってくれたり、授業の宿題を手伝ってくれたりしたので、距離が縮まりました。また、日本の他大学からも多くの学生が参加していて仲良く

なった人とは、韓国人の学生と共に今でも連絡を取り合っています。

日本人観光客が多いソウルと違って地方の大邱では日本語が通じません。だからこそ、韓国語を实践する機会が多くスキルが上達しました。

反日感情が高いと思われがちな韓国ですが実際、現地の人はとても親切で温かく接してくれました。皆さんも実際に訪ねてみませんか？きっと新たな発見があるはずです。



第11回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催される

12月4日（水）聖学院大学チャペルにおいて、第11回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催されました。予選で選抜された7名が「私の異文化体験」「未来の私」「世界の中の日本ー私のイメージ」「私の主張」をテーマに熱弁を奮いました。

学長賞を受賞したのは、日本文化学科3年のネマティーマスレ・ネサさん（イラン）の「私ー留学を通して成長した自分」。日本にも日本語にもすっかり慣れてしまった自分が、日本のイラン大使館を訪れた時、日本語でコミュニケーションを取ろうとして大使館員から「自分がイラン人であることを忘れるな。」と指摘され、自分のイラン人としてのアイデンティティーを再確認したエピソードを臨場感たっぷりに語りました。第2位「日本語教育委員長賞」を受賞したのは、コミュニティ政策学科1年のホン・ジンタイ（FENG RENTAI/中国）



本選
出場者

ンタイさん（中国）の「未来の私」。中国へのお母さんへの感謝の思いを、2013年度の流行語大賞にもなった「倍返しだ！」というフレーズを使って表現し、会場を沸かせてくれました。第3位の「国際部長賞」を獲得したのは、日本文化学科3年のヨウ・セイさん（中国）の「ありがとう、第二の故郷（ふるさと）・日本」。日本と祖国・中国を自分の父と母になぞらえ、両国に感謝しつつ、自分がその友好の架け橋になりたいと訴えました。

大会後の講評で、阿久戸光晴学長代行より「7名の勇氣ある素晴らしいメッセージに心から感動しました」との言葉があり、生活習慣も言葉も異なる日本で必死に努力している留学生に会場から大きな拍手が送られました。

〔学長賞〕

日本文化学科3年 ネマティーマスレ ネサ
(NEMATINESA/イラン)
「私ー留学を通して成長した自分」

〔日本語教育委員長賞〕

コミュニティ政策学科1年 ホン ジンタイ
(FENG RENTAI/中国)
「未来の私」



学長賞を受賞したネマティーマスレ ネサさん

〔国際部長賞〕

日本文化学科3年 ヨウ セイ
(YANG QIAN/中国)
「ありがとう、第二の故郷（ふるさと）・日本」



〔健闘賞〕（順不同）

政治経済学科1年 カネ マツ
(JIN SONG/中国)

「日本をEMS事業部と考えたら」

コミュニティ政策学科3年 リ ギョク
(LI YU/中国)

「家を出られない子どもは成長できない」

コミュニティ政策学科1年 リ キケン
(LI QIXUAN/中国)
「私の未来」

コミュニティ政策学科1年 ソン セイリン
(SUN CHENGLIN/中国)
「日本の生活」

在日留学生音楽コンクールでインプレッシブ賞を受賞！

（公財）国際文化交流事業財団が主催する第14回在日留学生音楽コンクールに、本学留学生9名が出場し、1月12日（日）に国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた本選に出場しました。6つの国と地域の留学生が国籍を越えて結成したグループは、本番に向けて何度も練習を重ね、KANの「愛は勝つ」を熱唱し、観衆に強い印象を与えました。その結果、見事インプレッシブ賞を受賞し、「聖学院の留学生ここにあり！」というところを見せてくれました。



パフォーマンスの様子



出場者を囲んで

留学生音楽コンクール本選出場者

欧米文化学科3年

グィム ティラン [ベトナム]

欧米文化学科3年

ヌチャ バーバラ [ベナン]

日本文化学科3年

イ テウック [韓国]

人間福祉学科3年

シー イティン [台湾]

コミュニティ政策学科2年

シン シガ [中国]

政治経済学科1年

リ イクキ [中国]

コミュニティ政策学科1年

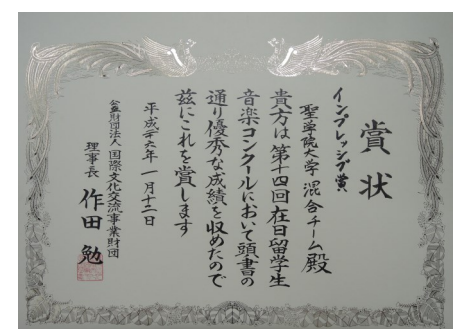
コウ ライ [中国]

コミュニティ政策学科1年

リュウ カンチョウ [中国]

コミュニティ政策学科1年

ハン ニーチョ [ミャンマー]



見事インプレッシブ賞を受賞！

春期海外研修特集～オーストラリア～



ディーキン大学 Deakin University English Language Institute (研修期間:2月13日～3月23日)

欧米文化学科3年(留学時2年)

伊藤 陸さん

私は今回オーストラリア研修で参加して得たものがあります。

まず一つ目は様々な国の人たちのコミュニケーション能力の高さを知り、得たと感じます。そのコミュニケーション能力の中でも「言語力」「表現力」「度胸」の三つが養われました。言語力はオーストラリアでの日常生活や学校生活の会話の中で養われていき特に「聞く」「話す」力が養われたと感じられます。



語学学校の友人たちと伊藤さん(左から4番目)

学校の友人、ホストファミリーとの会話を続けて行くうちに次第に「話す力」「聞く力」が自然と身に付きさらにその会話の中で相手が何を伝えようとしているかの「予測力」も養われたと感じました。「表現力」は学校でのプレゼンや日常生活の中での困った事があった時に養われたと感じました。学校でのプレゼンは様々な異国のの人たちにどうわかりやすく理解して貰う事が出来るかが重要視されてくるため、そこで必要とされてくるコミュニケーション能力の一つが「表現力」だと実感しました。例えば日常生活の中で道がわからなかった時、言語だけで伝える事と表現も交えて伝える事とは大きく違ってくると感じます。なぜなら言語だけで相手に伝える場合と表現も交えて伝える場合とでは理解のしやすさが異なってくる場合があると考え、ゆえに言語だけで伝える事は限界があ

ると感じられるからだと考えました。

そして今回の短期研修の中で最も養われたと感じるコミュニケーション能力は「度胸」です。今までの私は日本人の性なのか自分が分からない事に対して質問することを恥ずかしがっていました。すると会話の流れも追えないため会話についていけないといった状況が度々あったのですが度胸を出してわからない事や不満なことを言ってみると会話に参加できるようになりました。

今回オーストラリアに短期海外研修へ行き貴重な体験をして自分の中の何かが変わったような気がしました。これを機にもっと世界への視野を広げることができれば良いと深く考えさせられました。



ホストファザーと



第13回児童学海外研修

フリンダース大学 Flinders University Intensive English Language Institute (研修期間:2月22日～3月21日)

児童学科4年(留学時3年)

大戸 佑里菜さん

私がこの短期留学に行き行って本当に良かったと思うことは、お金には変えることのできない大切な人たちに会えたということです。フリンダース大学で幼児教育を教えてくださいましたサラ、優しくいつでも笑顔にさせてくれるホストファミリー、一緒にこの留学に参加し笑いあったり旅行したりした友達や先輩、引率し

てくださった先生方。参加したから出会えた人たちばかりで、これから先一生忘れることのできない思い出になりました。私たちは日本でいう保育園のチャイルドケアセンターで実習させていただいたり、最終日には小学校で1コマの授業をさせていただき、日本語が伝わらない状況で子どもたちと折り紙を折ったり、日本を紹介したり、外で思いきり遊んだりしました。日本とオーストラリアの保育・教育の違いを学ぶことができました。これは座学では決して学ぶことが出来ないことで、実際に外国の文化に触れてみないとわからないことなので、保育や教育に関わりたと思っている後輩にはぜひこの短期留学に参加してほしいです。私がお世話になったホストファミリーは、2人の男の子と1人の女の子がいました。英語が全く話せない私にノリ

の良いホストファザーがギャグを交えて話してくれたり、ホストマザーは簡単な単語を並べてゆっくり丁寧に会話してくれたりしました。子どもたちとは公園で思い切り遊んだり、プールに飛び込んだり、マシュマロを焼いたり、たくさん遊んで最後の空港のお見送りの時には声を出して泣いてくれました。勉強だけでなく人とのつながりを感じることができ、今までの人生の中で一番濃い1か月になりました。



ホストファミリーのこどもたちと



研修に参加した仲間たちと

ヴェリタス祭でも留学生が大活躍！

11月1日、2日に開催された大学祭「ヴェリタス祭」では、今年も留学生が大活躍、展示や出店で存在感を示しました。

2012年度最優秀展示賞を受賞した「国際

〔国際交流同好会まのと〕
・活動内容の展示・喫茶



「国際交流同好会まのと」のメンバー
左からゴガクティさん、皆川 淳さん、リ イクキさん、
武田 展矢さん、ネマティーマスレ ネサさん

交流同好会まのと」は、「まのとcafé」を出店し、各国の展示の傍らパンケーキを提供し、来場者が気軽に国際交流できる空間を演出しました。また、日本では味わえないイランのお茶なども楽しむことができ、入場者の関心を惹いていました。

一方、毎年恒例になっているコミュニティ政策学科渡辺准教授のゼミグループによる屋台では、じゃがバター、中国人留学生手作りのぴり辛ラー油がピリッとさいた肉まん、モチモチした水餃子、火鍋、鳥の醤油煮込みが提供され、留学生の元気な声がヴェリタス祭の雰囲気を盛り上げていました。留学生の皆さん、来年も期待しています！

〔渡辺英人ゼミ屋台〕

- ・じゃがバター
- ・中華風おでん
- ・ミニ肉まん
- ・鳥の醤油煮込み



「渡辺英人ゼミ」の留学生
サイ コウバイさん（左）
チョウ レイエンさん（右）

外国人留学生国別在籍状況

	国籍名	合計
1	中国	178
2	韓国	11
3	ベトナム	7
4	ネパール	4
5	タイ	2
6	台湾	2
7	マレーシア	2

	国籍名	合計
8	イラン	1
9	スリランカ	1
10	セネガル	1
11	ベナン	1
12	ミャンマー	1
2014年5月1日現在		211



お知らせ・イベント

- 4月 入学式
新入生 留学生ガイダンス
新入留学生歓迎会
- 5月 夏期海外研修締切・面接
- 6月 国際交流会
- 7月 夏期海外研修準備講座・準備会
- 8月 夏期海外研修
- 9月 秋入学生 留学生ガイダンス
春入学1年生・新編入生
留学生ガイダンス



SEIGAKUIN
UNIVERSITY

聖学院大学 国際交流・英語教育課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号

2号館1階 2103

TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月 9:00～17:00 火～土 9:00～11:10, 12:10～17:00